

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成28年6月9日

計画の名称	1 元町らしさを活かした再整備									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	浦安市					
計画の目標	重点密集市街地、消防活動困難地域及び未接道宅地の解消や下水道の整備等を行なうことによって住環境の改善を図り、「災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくる」、「堀江と猫実を結ぶ主要な生活道路をつくる」を目的とする。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急車両の進入が可能な道路の整備された割合を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
	緊急車両の進入が可能な道路の整備された延長を算出し、全体にしろる割合を算出する。 (基盤整備率) = Σ(整備済延長) / Σ(対象延長)						0%	100%	100%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,510百万円	A	2,452百万円	B		C	58百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.3%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成28年5月
市内の担当部署	公表の方法
	市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 道路事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都再区画	一般	浦安市	直接	浦安市	堀江・猫実B地区土地区画整理事業	都市再生区画整理 2.1ha	浦安市						2,452	
合計												2,452			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	浦安市	直接	浦安市	まちにわ広場等整備事業	緑地やベンチ・花壇などの整備						5		
1-C-2	計画・調査	一般	浦安市	直接	浦安市	新中通り線と周辺市街地整備	整備に向けた検討調査						6		
1-C-3	施設整備	一般	浦安市	直接	浦安市	防犯灯設置	電柱に共架するLED街灯の設置						2		
1-C-4	施設整備	一般	浦安市	直接	浦安市	災害時誘導灯設置	ソーラーによる誘導灯の設置						2		
1-C-5	施設整備	一般	浦安市	直接	浦安市	区画道路延長整備	道路整備事業						3		
1-C-6	補償	一般	浦安市	直接	浦安市	交差点改良事業	交差点の改良						40		
合計												58			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-C-1	区画整理で生じた残地を有効活用し、まちかどに魅力ある空間の形成を図る。														
1-C-2	次期整備地区の事業を推進するため、協議会の立ち上げの準備を行う。														
1-C-3	地区一体に防犯灯を設置し、防犯機能を高める。														
1-C-4	地区一体に災害時誘導灯を設置し、災害に強い市街地の形成を図る。														
1-C-5	区画道路を整備することで密集市街地の改善を図れる。														
1-C-6	区画整理地区界の交差点部を整備することにより、より安全な市街地の形成を図る。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		堀江・猫実B地区土地区画整理事業の進捗により、消防活動困難区域が解消された。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（基盤整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		堀江・猫実B地区土地区画整理事業の進捗により、住環境の改善が図られた。		
3. 特記事項（今後の方針等）				
堀江・猫実元町地区については、今後A地区のみならず線からやなぎ通りの220m区画に引き続き取り組んでいく。				